

平成17(2005)年7月20日

第 29 号

会 稲門会 一 勲 夫 次
 世田谷 倉澤 島原 邦利
 発行人 集 編 行 人 集 編 行 人 集 編

事務局 〒157-0067
 東京都世田谷区喜多見4-33-25
 川村保夫 方
 TEL/FAX 03-3417-7104

世田谷稲門会会報

ももとせ(百歳)の内藤会員に花束 第十四回定時総会にご出席

当会々員内藤隆福氏が平成十七年五月十五日に満百歳を迎えられました。



五月二十二日の第十四回世田谷稲門会定時総会にも娃子夫人とともにご出席いただき、花束贈呈に笑顔で応えられました。明治三十八年に東京・深沢の医王寺に生を享けて仏法を修行、早稲田に通いながら世田谷用賀の真福寺の住職に

を越えてなお続けられたゴルフはようやく控えられました

納涼会八月二十七日(土)開催

渋谷 エクセルホテル東急

平成十七年度の世田谷稲門会の納涼会は八月二十七日(土)午後六時から井の頭線渋谷駅の上、エクセルホテル東急六階の「プラネットルーム」で開催することになった。

会費は一万円(同伴者九千円)。

アトラクションとしてシャンソン歌

手 黒川泰子さん(写真)に友情出演

していただく予定。

足の便の大変良いところです。

暑気払いに多くの会員の参加をお待ちしています。



が、声明で鍛えられた発声でカラオケは部会のご常連。当

会のみならず早稲田校友の至宝として百歳健在を慶賀申上

げ、更なるご長命を心より祈念いたします。

『生ある限り何かを行ってこそ本当に生きている甲斐がある。』著者「平成十年五月十五日出版」より。

(世田谷稲門会会長 土倉亨一/記)

なお内藤隆福氏に投稿いただいた随筆を八面の「会員のひろば」に掲載しました。

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

中央図書館・国際会議場

百年を超える歴史を持つ

母校野球部が一九四三年十月のちに「最後の早慶戦」と呼ばれる試合を戦ったのがかつての「安部球場」である。幾多の俊英名手を育てあげた球場跡地には、星霜を経た今、中央図書館・国際会議場がその威容を誇っている。往古を偲ぶにはその前庭に建立されている安部磯雄(写真)、飛田穂洲両先輩の胸像に拠るしかなくなった。

(川村保夫/撮影・細澤勲/記)

早稲田の今 第3回 安部球場跡



第十四回定時総会開催

山田真貴子世田谷区助役が講演

「まばエミナース」で開催 頼の挨拶があった。

第一部講演会・第三部懇親

第一部総会は柏良子副会長 会は鈴木幹事長の司会で進行。司会で進行。会則の規定により土倉享一会長が議長となり議事がすすめられた。平成十六年度事業・決算・会計監査の各報告、平成十七年度事業計画・予算の議案が提出され承認された。総会終了後、鈴木幹事長から早稲田大学よりの来賓江夏健一副総長及び廣瀬剛百二十五周年記念事業募金局課長の紹介があり、母校創立百二十五周年記念事業への二十万円の寄付（目録）が会長から副総長へ手渡された。副総長より謝辞ならびに母校の学内事情を骨子とする近況報告、廣瀬課長より百二十五周年記念事業募金の現状と寄付協力方依



の「魅力あふれる安全・安心のまち世田谷をめざして」と題する講演があった。（写真）区政の計画・実施状況、区施設の積極的利用勧奨などに、わかりやすく説明があった。

第三部は会場

をダイヤモンド・ルームに移し和・洋の着席式でのバイキングの懇親会が催された。

会長の挨拶に続き、本年五月に百歳（ももとせ）を迎えられた内藤隆福氏（昭六理工）に女性代表から花束の贈呈が

あった。また、今春瑞宝双光章と勲記を受賞された小山田安宏氏（昭三十一政経）の披露があった。さらに近隣稲門会よりの来賓の紹介に続き来賓を代表して品川稲門会の会

長桜井輝隆氏の祝辞があり、前幹事長前原祖彦氏の乾杯発声で開演。新人会員三名の自己紹介などをささみ会は盛り上がった。

ファイナレは岩上健一副会

長のリードで校歌を全員高声らかに斉唱、山口進吾副会長の中締めで九時に散会。

世田谷稲門会16年度決算・17年度予算

単位：円

項目	16年度予算	16年度実績	17年度予算	備考
収入				
前年度繰越 ①	1,185,299	1,185,299	994,909	
年会費 ②	1,110,000	1,058,500	1,140,000	380名
総会費 ア	700,000	706,000	700,000	
納涼会費 イ	700,000	1,052,000	1,000,000	
新年会費 ウ	800,000	964,000	900,000	
ア～ウ 小計 ③	2,200,000	2,722,000	2,600,000	
組織強化補助金 エ	400,000	416,000	400,000	
雑収入 オ	0	30,000	0	内藤様寄付
預り金 カ	0	▲20,000	0	年会費へ振り替え▲59,000・新規39,000
利息収入 キ	10	12	10	
エ～キ 小計 ④	400,010	426,012	400,010	
収入合計①+②+③+④	4,895,309	5,391,811	5,134,919	
支出				
総会費用 ア	700,000	640,400	700,000	
納涼会費用 イ	700,000	1,210,010	1,000,000	
新年会費用 ウ	800,000	919,308	900,000	
ア～ウ 小計 ①	2,200,000	2,769,718	2,600,000	
総会等予備費 エ	100,000	0	100,000	
総会等講師謝礼 オ	165,000	170,000	200,000	総会・納涼会・新年会
エ～オ 小計 ②	265,000	170,000	300,000	
諸経費				
事務用品費	80,000	77,903	80,000	封筒代他
通信費	300,000	151,017	200,000	各種案内郵送料他
会報作成費	300,000	361,060	400,000	28・29・30号
業務委託費	100,000	87,200	100,000	本部・会計・会報業務
部会援助費	20,000	0	20,000	
会議費	300,000	288,279	300,000	常任幹事会他
校友会、23区活動費	300,000	193,925	300,000	支部幹事会、稲門祭他
HP関連費	60,000	60,000	60,000	
ブロック会補助費	30,000	6,500	0	
125周年寄付	200,000	200,000	200,000	累計1,000,000
名簿作成費	0	0	0	
雑費	80,000	31,300	50,000	送金手数料他
諸経費小計 ③	1,770,000	1,457,184	1,710,000	
支出合計 ①+②+③	4,235,000	4,396,902	4,610,000	
次期繰越金	660,309	994,909	524,919	
合計	4,895,309	5,391,811	5,134,919	

部会だより

ボウリング

当部会は毎月1回 世田谷オークラボウルにおいて、渋谷稲門会と合同して例会を開催しております。3月は27日(日)に、13名が参加。江口さんと佐山さんがハイレベルの得点を競い合って同点。

177点江口力、177点佐山順孝、149点宮木甫

4月は24日(日)に、9名が参加。

前月に続き江口さんが好調を持続してトップ。宮木さん、山口さんが追いつ追われつの熱戦。

161点江口力、139点宮木甫、139点山口進吾

5月は29日(日)に、11名が参加。

今月は高橋善一郎さん(31商)が奥様を同伴して初参加。和やかな雰囲気での楽しい投球。得点は、宮木さんが毎月安定した実力を発揮、加藤さんも5フレームまでミスなしの投球でトップを分け合う。

149点宮木甫 149点加藤隆夫、134点武藤哲

ボウリング場も3月1日新装開店して、明るく快適な素晴らしい環境。3ゲーム約1時間強の運動は健康に最適。おしゃべりをしながらの投球はストレス解消にも良し。家族同伴大歓迎、お気軽にご参加のほどお待ちしております。
(武藤 哲/記)

スポーツ観戦

スポーツ観戦部会のメインイベント、恒例の春の東京六大学野球「早慶戦」観戦〔応援〕会を5月28日(土) 神宮球場で行った。

今年も山口副会長・岩上元応援団長のご尽力で学生応援席の一角の特等席に陣を取り、夏を思わせる強い日差しの下、声を張り上げた。

今年は早慶ともここまで全勝、勝った方が優勝ということで試合開始前から内・外野とも満員、熱気に包まれた。青春を取り戻しながら早くも応援合戦に引き込まれて行った。

試合はホームラン合戦の末、宮本投手の要所要所をおさえる好投で快勝、溜飲を下げ、そのあといつもの青山増田屋で祝勝会、午後6時過ぎまで大いに盛り上がった。

〔その後2回戦は敗れたが3回戦は快勝、優勝を決めた〕

観戦ご出席の皆さんは同伴の方を含め43名でした。これからも母校の野球・ラグビーその他のスポーツの活躍ぶりを観戦し、大いに楽しみましょう。

おわりに、メンバーの暮田忠雄さんからの優勝を祝しての一句

「校歌斉唱まず夏帽子にぎりしめ」

(横田 吉明/記)



写 真

写真部会の活動は今年前半は新年会の写真展のみであったが、後半を迎え、今後の活動を6月20日(月)の例会で出席者全員で検討し、下記のように改め、積極的に進めることにした。

(方針)

例会は1月、8月を除き、年10回開催する。開催日は第2週の月曜日に実施する。

但し祝日が重なった時は、前後の月曜日に変更する。時間は10時～13時に実施。

今後の予定；8月1日(月)(7月分)、9月12日(月)、10月17日(月)。

(例会の内容)

各自作品を持参し(枚数の制限は特にしない)自分の撮影目的を話し、皆さんからは忌憚ない意見を自由に述べあって、作品の勉強をする。今回はプリントだけで作品発表をしたが、今後はプロジェクターを使って「ポジフィルム」を映写して行うようにする。但し35mmフィルムのみの映写となる。

(開催場所)

東京農大交友会館「グリーンアカデミーホール」(世田谷区桜ヶ丘3丁目)。例会を行うのに適当な場所が無く、なかなか開催する事が出来ずにいた。世話人で場所探しを実施して、やっと場所取りも自由に出来、価格も安く、部屋が明るく広い場所のある良い場所が見つかり、当分ここで実施する事になった。6月20日に新会場で実施したが、9名の参加で和気藹々の雰囲気の中作品を鑑賞し、話題は撮影技術、プリント技術、デジタルカメラの技術動向、銀塩カメラ、銀塩フィルム等におよび3時間はあっという間に過ぎてしまった。ここにはレストランもあるので、遅い昼食を取ってさらに歓談して解散した。現在会員数は19名。

(種谷 鴻成/記)

釣 り

- ・3月27日いしもち、かさご釣りを金沢八景新健丸より出船。晴天の釣り日和、4名参加、トップいしもち30センチ含め28匹、他かさご3匹。全員がそれぞれ釣れた。(写真)
- ・4月例会は、24、29日の2日行なう。大田、川崎稲門会より当釣り部に入部、賛助会員として参加。前日よりにがり潮が東京湾に入り、全くの不漁。こはだが大量に浮いてしまった。トップかさご15匹、参加7名。
- ・5月29日シーズンのきす釣り、茅ヶ崎沖エ門丸より出航、中小型主体、大型無し。トップ23匹。参加2名。
- ・5・6月溪流釣り、大見川上流(狩野川上流) 小型やまめ16~17センチ、早朝・夕方2~3時間の釣りで10匹~16匹。たまに、いわなが混じる。7月が楽しみ。
- ・秋 一泊旅行は、網代湾五目ボート釣りを熱海市上多賀の民宿いなほ泊で予約しました。

11月26日(土)釣り、宿泊、一泊二食付六千円、世田谷区協定保養施設。

(柴田 昇/記)



ウォーキング

平成15年3月に第1回目のウォーキングを行ってから殆ど毎月開催して今月(6月)で第30回となります。最初の1年間は主として世田谷区内の烏山緑道・北沢川緑道・仙川・野川・目黒川・蛇崩川緑道等を歩きました。

その後は深大寺や・神楽坂・国分寺の「お鷹の道」・江ノ島から鎌倉へと足を伸ばし、延べ200Km強を歩きました。そこで更に充実を図ろうということで、本年度より企画担当世話人を増やし企画も多様化することにしました。(印新任世話人)

代表世話人：寺澤隆夫(29商) 企画担当：新井 武(33商) 河内文雄(34法)

* 加藤隆夫(34法) * 矢尾板煥二(37商)

本年度予定(変更あるかも・・・)

7月10日(日) 旧芝離宮→浜離宮→築地市場→波除神社→勝鬨橋 7Km

9月10日(土) 豊島ヶ岡御陵→椿山荘→早稲田→戸山公園

9月28日(水) 北鎌倉一日コース

10月9日(日) 「かわらぬ下町情緒を尋ねて」三ノ輪→浄閑寺→小塚原回向院→鷲神社

11月12日(土) 清水谷公園→豊川稲荷→日枝神社→赤坂

12月11日(日) 大森→池上本門寺

稲門会各位 毎回13名前後でゆっくり歩きますので、誰でも参加できます。どうぞ希望者は企画担当の新井(TEL3425-4118、携帯090-8173-1137)までお申し出下さい。

(寺澤 隆夫/記)

食べ歩き

2月25日、平成16年度第3回例会を開催。

参加者35名。「小笠原伯爵邸」で洗練されたフルコースのスペイン料理と白ワインを堪能し、また心づくしのサービスに接する事が出来た。当部会としては空前の参加人員で、好日好人集えば語る話は尽きる事なく最高の盛り上がりとなった。解散後は礼法小笠原流宗家30代当主小笠原長幹の自邸として建てられたスパニッシュ様式の歴史的建造物の見学会を行い、各自感銘を深くした有意義な1日であった。

4月22日、平成16年度第4回例会を開催。参加者18名。今回は平成3年3月に建てられた豪華な東京都庁の内部施設を都庁職員の案内により見学した。視聴覚室・防災センター・都議会議事堂等を見学し都の行政への認識を深め、また第1本庁舎45階地上202mの展望室より、広大な大東京の街並や公園等の全貌を眺めて感動を新たにしました。見学会後京王プラザホテル44階「アンブローシア」の個室レストランで窓外に広がる東京の街を眼下に眺めつつフルコースのフランス料理とワインを堪能し和気藹々の談笑の渦の中の昼食会を愉しんだ。



(大須賀 肇/記)

京王プラザホテル「アンブローシア」

囲碁将棋

平成17年6月5日午後1時、恒例の第20回世田谷稲門会囲碁の会を世田谷区用賀の「囲碁サロン石庭」にて開催。参加者は13名。今回は早稲田大学商議員で校友会幹事の志水一夫八段が参加された。又、会員として新たに大庭克治7段も加わり、当囲碁部の層は一段と厚くなった。梅雨入りした日曜の昼下がりのこともあり、碁客はまばら。ほとんど我々だけの貸切状態である。ゆったりとした大部屋だが、碁戦は高段者を迎えてやや緊張気味。沈黙のうちに対局は粛々と進む。これを機会にわが世田谷稲門会囲碁将棋部のピーアールをさして頂く。部員は目下の所、総勢で有段者、級位者を含め28名。殆どが碁打ちだが、囲碁部員で将棋も指すのが4名いる。棋力は囲碁7段を筆頭に5級程度まで様々。囲碁はハンデがあるのでさほど気にならず、高段者から級位者まで和気藹々で打てるのがいい。又、高段者に局後にまづい部分を並べ直し、疑問手の検討をして貰うのが上達の秘訣になる。

さて、囲碁の場合をとれば、世田谷稲門会内部の囲碁の例会は年間5回。3月、6月、9月、11月、12月だが、このうち3月と11月は、湯河原の「杉の宿」に1泊の合宿に行く。例会の合間を縫って、5月は「オール早稲田囲碁祭」、10月に開催の「稲穂会」と早稲田大学全体でやる対外試合にチームを組んで参加する。これらを含めると年間行事は7回を数える。オール早稲田囲碁祭りとは首都圏稲門会囲碁部会が企画したもので、早稲田の各稲門会が一同に会する囲碁祭りで、この企画には早稲田大学囲碁部OB会（含む現役の早稲田大学囲碁部）も参加し、三浦浩（元アマ本因坊）をはじめ県代表クラスが多数出場し、指導碁も打ってくれる。世田谷稲門会囲碁部を含めて参加者横浜、藤沢、市川、調布、日野、国立、府中、江戸川、渋谷、目黒、杉並、中野、練馬、文京、板橋、北、新宿、千代田、豊島、大田、東村山、東久留米、西東京、我孫子、鎌倉、逗子等27市区に及ぶ。世田谷は毎年2チームを送り会の運営につき実行委員を兼ねている。又、「稲穂会」は杉並、世田谷、新宿、目黒等が中心になって毎年行おうが昨年は世田谷が幹事を務めた。将棋についてもオール早稲田将棋大会の外、渋谷稲門会等との将棋大会がある。両方を含めると年間ではほぼ月に1回以上になる。更に今後はこちらも広がる傾向にある。

以上年間の行事も盛り沢山なので、今後とも出来るだけ多くの方々に参加されることを願っている。

(矢田 廣/記)

麻雀

当麻雀部も好評裡に満7周年を迎え、部員一同、親睦と技量アップをスローガンに、日夜精励恪勤に努めております。

(1) 4月17日(日) 春とは申せ初夏と見まがう暑い一日24名の自称雀豪が、小田急線祖師ヶ谷大蔵駅から徒歩3分の麻雀荘「天狗」に12時半集合し(会場と時間は以下同じ)熱気溢れる試合を展開した。初回代表世話人がツキにまかせ2位以下を引き離す大暴走を行なったが、メンバーの都合で一回戦列を離れている間に自称雀豪の方々に追いつかれ形勢が一変し、あわや、河村ご夫妻の一、二位独占かと会場を沸かしたが、老練奥田氏が不粋にも二位に滑り込み、ご夫妻のワンツーフィニッシュを阻止した。代表世話人は熾烈なトップ争いからハジキとばされ四位大波賞に終わった。

優勝 河村暉子 準優勝 奥田隆 三位 河村卓郎 四位 下谷内堯 五位 有利純太郎 六位 武田一成

(2) 5月14日(土) ゴールデンウィーク明けの絶好のタイミングのせいか、31名の強者が競う熾烈な闘いとなった。試合は前半大量リードの大矢、菊池両氏の争いかと皆思ったが、レディーファーストを両名が地でいっている間に原諒子氏が持てる力をフルに発揮し、優勝を攫い2回続けて女性軍の優勝となった。

優勝 原諒子 準優勝 大矢和親 三位 菊池吉晏 四位 河村卓郎 五位 江口力 六位 山本英親

(3) 6月18日(土) 梅雨の晴れ間の日、17名の善男善女が集い口と技との激しい闘いとなった。前半終了時江口氏が他を五馬身引離し、ガチガチの本命と思われたが参加者に遠慮している間に、老練、郡山、蔭山、寺澤三氏の激しい追い上げを喰い、防戦にこれ努めている間に、郡山氏の乾坤一擲の勝負に押され一旦手にした筈の賜杯をおっことしてしまった。

優勝 郡山弘文 準優勝 江口力 三位 蔭山康夫 四位 寺澤隆夫 五位 暮田忠雄 六位 武田一成
(下谷内 堯/記)

ゴルフ

43回を迎えたゴルフ部会が6月3日山梨の大月カントリークラブにおいて開催され、45名の参加により盛大な会となりました。事前の天気予報が雨模様と予想されていた為やきもきしましたが、当日は皆さんの願が通じたのか好天となり、新緑のもと熱戦が展開されて、この日に備えた鍛錬の成果を遺憾なく発揮されアンダーパーが12名も出るというハイレベルな戦いとなりました。コースが企画した当日のプレー費がスコア一次第という珍しい「ワンストロークプラン」が適用され、基本料2千円プラスワンストロークにつき100円という優勝を目指すだけではなく費用節約にもチャレンジする楽しい1日となった中で、次の方々が好スコアにより優勝されました。

また、レディスの参加が2名（4名以上で優勝）であったためレディスベスト賞の選出となりました。

総合優勝：山内章次さん、グランドシニア優勝：水野義一さん、レディスベスト賞：沼田宣子さん。

次回の第44回大会は、9月16日（金）習志野CCクイーンコースにて開催いたします。乗用カートがフェアウェイにも入れるアメリカンスタイルでのプレーとなりますので、レディスの皆様はじめ多数のご参加をお待ち致します。

（熊谷 慶紀/記）



左より 山内さん、水野さん、沼田さん

カラオケ

当部会では、去る7月3日、第19回の例会を「用賀ドミファ・クラブ」の個室を借り切って開催いたしました。参加者は満百歳の長老、内藤先輩をはじめ総勢21名。

今回は、新趣向として「プロ歌手を招いて、一緒に歌う」という会を企画しました。当該プロ歌手は今年の4月に「逢瀬川」という演歌でデビューした新人の女性歌手で世話役の知人ということもあり、友情出演に心よく応じてくれました。

部会は、まず内藤先輩へ百歳のお祝いの花束贈呈、新人紹介等の後、いよいよプロの登場、最初に当人のデビュー曲が披露され、続いて部会員の中から希望者が彼女とデュエット等、共演を楽しみました。

曲目は「昭和枯れすすき」「二人の大阪」「アマン」「二輪草」等でしたが、内藤先輩がひばりの「みだれ髪」に挑戦した時には彼女もびっくりしていました。

後半は5つの個室に分散して各人の持ち歌を披露、最後は全員で「リンゴの唄」を斉唱して散会しました。因にプロの感想は「みなさん大変お元気でなかなか上手、私も頑張ります」とのことでした。

次回は9月（19日～20日）に特別部会「カラオケ旅行」（箱根）を予定しています。ご期待下さい。

（蒲原 信一/記）

ブロック会だより

西 北

第9回目を6月13日（月）12時より、新日鉄「代々木倶楽部」にて開催。当日は本部より、山口副会長、川村事務局長、細澤幹事にもご出席頂き総勢21名の参加で盛会でした。

懐石弁当を食しつつ歓談。

食事後今回は、前原祖彦氏（25年理工・土木工学）に「私の半生で学んだもの」と題してご講演を頂いた。

理工学部卒でありながら、日産、トヨタ両社で営業に携わられ、そのご経験から現在の両社を鋭く分析され、時にはユーモアを交えながらご自身の病歴も披露されつつ、含蓄のあるお話、氏の人生の根幹に一貫して流れているものは”余生ではなく、与生と考える。人生は縁と運・出会いによる”とのことで大いに共感を覚えた次第です。

現在奥様が病床にありながらの熱弁有難うございました。一日も早いご回復をお祈りいたします。

次回は9月に開催予定です。

なお今年度の世話人は昭和38年度卒業の寺島 邦夫、横田 吉明、松浦 晋三郎、熊谷 慶紀が務めることになりました。

（松浦 晋三郎/記）



キャロット

我々 世田谷稲門会キャロット会は昨年11月28日三軒茶屋の三河屋で懇親会を開催し、その折平成17年度は5月頃 三軒茶屋のキャロット・タワー内の劇場を借りて落語会を開催しようということになりました。

実施に向けて 富塚世話人がパブリックシアターに連絡したところ平成17年度は演劇等の開催で予約が一杯でしたので、来年開催にして、平成18年6月25日(土)の午後「シアタートラム」という240人収容の会場を予約致しました。



昨年の忘年会にて

6月12日に世話人5人で協議し、9月7日懇親会にかけ、最終的には年末の忘年会で承認されれば、主催・キャロット会、後援・世田谷稲門会 ということ、稲門寄席(仮称)を開催する予定です。

乞うご期待。

(萩原 健/記)

玉川

3月24日に日本銀行本店見学会を行った。2組のご夫婦を含む17名が参加。日頃見られない重要文化財の本館、旧館地下大金庫、史料展示室を見学した。そのあと銀座での懇親会への途中、日本橋に開設された早大大学院ファイナンス研究科を見学することが出来て、とても有意義な一日だった。

4月23日山本厚子さんが提案された“愛唱歌の会”が発足した。2組のご夫婦、ご夫人のみの方、玉川会行事に初参加の方など、いつもの他の会と少し異なる雰囲気になったのは意義深かった。山本さんのピアノ伴奏で春の小川など十数曲を皆で大きな声を出して歌った。5月14日、6月4日にも行った。

5月15日東京競馬場(府中)貴賓室で競馬観戦会を開催した。初めての方も多かったので馬券の買い方から教えてもらい、レースに一喜一憂しながら楽しくも夢にあふれた時間を過ごした。

6月10日富士小山ゴルフクラブでゲスト3名を含む12名でプレイした。当日は梅雨入り宣言の日だったが、心配するほどのこともなく、ナイスショット(?)に明け暮れた一日だった。

7月3日(日)に17年度の総会を開催し、新年度の行事計画などを話し合うことにしている。

(浜田 康夫/記)



千歳

第5回千歳会は7月4日(月)午後、桜上水駅近くの居酒屋「庄や」において開催。隣接ブロックの「きぬた会」から河村保夫さん(副会長事務局長)、「西北会」から前原祖彦さん(前幹事長)の特別の出席を得て、初参加の2名を含めて参加者数17名。

今回は当会会員で弁護士として活躍中の大西幸雄さん(昭40法)に、「相続をめぐる様々な問題について」というテーマで講演をしていただいた。資産家の多い当会のメンバーにとって、財産の問題は大の関心事。相続をめぐる紛争の実情について具体的な事例を挙げての説明、また法制上の諸問題について分かり易い解説あり、全員耳を傾けて熱心に拝聴、有意義なひとときであった。

終了後、親睦の宴に入り、和洋折衷の料理にアルコールはお好みもの飲み放題で、和気あいあい、楽しいおしゃべりに花を咲かせて2時間。次回、中国通の水島豊さん(昭40政経)に中国関連の講演をお願いして、元気な再会を約して散会。

(武藤 哲/記)

「会員のひろば」

初体験の記

瑞宝双光章と勲記を頂き

小山田 安宏

(昭和三十一年・政経)

「初物を食べたなら七十五日長生きする」と子供の頃からよく言われましたが、初物食いも初体験だから初体験したらやはり七十五日長生きできる



のかなと考えながら、齢七十を過ぎての初体験をしました。それは春の叙勲を受けるといふ珍しい体験でした。新聞に自分の名前が出たことからはじめ、五月二十日赤坂プリンスホテルでの国土交通省勲章伝達式で瑞宝双光章と勲記を頂き、皇居の中にバスで乗り入れ、長和殿の春秋の間で

天皇陛下から感謝と労いのお言葉を頂き、御下賜品の菊焼残月と称するどら焼を味わい、等など生まれて初めての体験を重ねました。

私のサラリーマン生活は、海上保安庁水路部という、海の測量と海図作りをメインとする役所で四十年余りの第一段階を終え、ゼネコンの青木建設で二年十ヶ月勤めた後、ヘリコプターと測量の朝日航洋で十一年三ヶ月の第三段階を去る三月末で終了しました。現在は財団法人日本水路協会で週一日働いています。この五十余年の間、殆ど国際関係の仕事をしており、日本で働くより外国人相手のほうが性に合っていました。

初めて皇居内に入ったとき、一番印象に残ったのは、外国の宮殿等のような豪華さ、きらびやかさは見られず、木々の緑と敷石の白が見事に調和したなかに、緑色の瓦を載せた庇の長い簡素に見える建物でした。長和殿は一番大きい建物らしく、長さ百六十メートルの高床式平屋で、春秋の間は重さ一・五トンあるクリスタルガラスのシャンデリア

が五個も高い天井から吊られていました。天皇陛下は、お言葉の後、前後に別れた受賞者群と、配偶者群との間を会釈をしながら歩かれました。そのとき天皇陛下のモーニングの袖は四つボタンなのに他の侍従の袖は三つボタンで、成る程と思いました。

家へ帰ってから家内が「パパが勲章貰って嬉しいけど、皇居の中に入れて天皇陛下をお近くで見られたことが一番嬉しかった」と申しておりました。それにつけても、長和殿の南車寄せの間の窓から、外の庭や緑の築山、色とりどりの花が、部屋の中の黒い大理石の床に逆さに写っている風景は、他では味わえない美を見出しました。

不思議なことで、今まで自分の思考と行為は一對一となつて行動していたのですが、今回の初体験により、自分ももう一つ何かの目で見られていられるように感じ、そちらの方にも気を使って行動しないといけないかな、というのが今回受賞した感想です。

百年前の世田谷

内藤隆福(昭和六年・理工)



百年前の世田谷は荏原郡世田谷村(郷)と駒沢村、玉川村、松沢村が一つになって、その中で代官の居た世田谷村の名を取って世田谷区と云うようになったのである。

今の「二四六」は大山道と云って当時百姓達が大山の阿夫利神社に雨乞いに行く田舎道であった。唯玉川電車は私の子供の頃には既にあり玉川の砂利を運ぶ砂利箱電車と呼ばれ三フィート六インチの狭軌の電車であった。この電車に沿って堀川があり今の環七方面へ流れて上馬の曲がり角の所には水車がありこの辺りまでシジミが上って来ていて食料にしたものだった。

勿論当時は今の駒沢公園は大切山(デンギリヤマ)と云って明治天皇が狐狩りにおい

でになったとも云われ私の子供の時にも谷岡貫二さんの鶏を狐が追って来て取りそこねたのも覚えていいる。そして道路などもしっかりしたものは無く草の生えた泥道で梅雨の時にはウナギが上って来てプツと称する針の沢山附いた笹棒の道具でたいて取ったりした。又丘には高い木が繁りムササビが両手両足をひろげ滑走し、ヒユウヒユウ狸と云う貉が毎晩のように鳴き蟬や蛙と現代の騒音どころではない。蛇も多く縄飛びには重さが丁度良く、良く遊んだものである。その他フクロウも巣を作り寺の本堂の中にはコウモリが飛び交い蚊を取って生きていた。今の秋山さんの裏も森林が深く雉も居て深沢小学校の隣の庚申塚の前にはササコと云うキノコが沢山採れ汁に入れ煮て食べたのである。

又この辺りの川から田に入るあたりにゲ蜂と云う黒いナマズの種類が居り小さいがヒ

レに針があり刺されると痛い
が今関東では埼玉県に少し残
っているとか？ 彼のナマズ
の殿下（秋篠宮）の御言葉に
よると九州の球磨川には似た
魚が居る事が解った。この年
になると子供の頃の思い出は
鮮明だが、バルチック艦隊を
破った日本海会戦で始まった
私の人生一〇〇年は長いはず
だが、今はあつと云う間にも
思われるのである。

北澤八幡神社

宮司 矢島嗣久
(昭和三十二法)

草創五百四拾年記念事業と
して取り組んだ神楽殿の改装
工事は、昨年八月に完成し、
秋祭りの賑わいが更に増した
ことを大変嬉しく思っており
ます。



この神楽殿は下北沢村の村
人が鎌倉の鶴岡八幡宮の舞殿
と同じ規模で作ろうとの意気
込みで明治二十六年に完成し
てから百拾年経ちましたが、

耐震性を増し、更に能楽も演
じられるように意図しました。
この下北沢の地に八幡さま
が祀られたのは、今からおよ
そ五百年前、室町時代の半ば
頃、応仁の乱で天下が乱れた
文明年間（一四六九〜八七）、
源氏の一族で世田谷城主であ
った吉良氏が、城の鬼門にあ
たるので、

応神天皇の御代には、大陸
より論語・千字文が伝わり、
機械の技術や学問技芸の発達
に大いに尽力されたので、文
化開発の神と仰がれました。
神功皇后は息長帯比売命と
称されたように安産健康長寿
の神といわれています。
仁徳天皇は「高殿に昇りて



七澤とは
北沢・池沢
（今はな
し）・上馬
引沢・下馬
引沢・野
沢・奥沢・
深沢をさすといわれています。
北沢の地名は、世田谷には
沢や池が多く、世田谷の北に
ある沢なので、北沢の名がつ
いたと伝えられています。

ご祭神は第十五代応神天皇
比売神、神功皇后、第十六代
仁徳天皇です。
見れば煙立
つ民のかま
どは賑ひに
けり」とう
たわれたよ
うに徳の高
い天皇とし
て、世界最
大の古墳と
いわれる前
方後円墳に
葬られました
た。
今年の秋
祭りは、九
月三日（土） 四日（日）の二
日間に亘り、八十店以上の露
店と神楽殿での奉納演芸と四
日（日）には午後一時から二
十三基の神輿が宮入りし、境
内は最大の盛り上がりみせ
ますので、是非お立ち寄り下
さい。

情報ガイド

二十三区支部臨時総会開催

○五年度二十三区支部臨時
総会は五月十七日大隈会館で
開催された。

一、役員人事
○五年度二十三区支部長
大久保信隆（荒川稲門会長）
副支部長
松本常男（大田稲門会長）、
副支部長 荻野隆義
○六年度支部長予定）
副支部長 荻野隆義
○七年度支部
長予定）

二、幹事会の開催
原則月一回幹事会を開催し
課題・企画その他の業務に関
する案件を審議し、執行する。
委員会の開催
組織・事業・広報の三委員会
を幹事会の中に設ける。各区
幹事がいずれかの委員会に属
し、適宜開催して幹事会に報
告する。

三、校友会行事への参加・協
力
二十三区支部として全面的
に協力する。

本年度の行事予定
五月二十二日（日）
オール早稲田囲碁祭
十月二十三日（日）
稲門祭

十一月七日（月）
総長杯ゴルフ

四、基本問題討議
イ、専従事務局制
金額面その他で、具体化に
は時間を要す。
ロ、組織強化費の二十三区へ
の拠出
実現は無理との結論
（鈴木宏治記）

稲門祭福引券完売御礼

五月二十二日の総会で会員
の皆様にご協力をお願いした
○五年稲門祭福引券は、お陰
様で、六月十六日に二二〇枚
を完売いたしました。ご協力
を感謝いたします。
九月下旬頃に記念品をお渡
しする予定です。福引商品は
当日（十月二十三日）のお楽
しみです。
（実行委員 鈴木宏治・岩
上健一）

新入会・休会・退会の正誤・住所移転等のお知らせ

「名簿（平成16年4月発行）・会報28号記載事項」以降（敬称略）

（新入会員）

	氏名	卒年	郵便番号	住所	TEL・FAX
1	大道 映子	昭51教育	個人情報につき不掲載		
2	高橋 惇	昭33商学部			
3	西浦 良一	昭47教育			
4	宮崎 孝	昭52法学			
5	広瀬 剛	昭63社会科学			

（退会員）

青山 英樹 平9文

（変更事項）

P・11 酒井 宏晏 昭43政経
(住所)

*世田谷稲門会年会費払込
〔振込〕のお願い

世田谷稲門会の活動は会員皆さんの貴重な年会費に支えられています。

本年度も総会のご案内の際にご依頼し、多数の皆さんからお支払いいただき誠に有難うございました。

まだお支払いでない方には、夏の納涼会のご案内状発送に併せて「払込取扱票」〔郵便局〕を同封しますので、その後速やかに払込ください。なお、銀行振込でも結構です。

単独会員 三、〇〇〇円

ご夫婦会員 五、〇〇〇円〔お二人で〕

〔参考〕

郵便局払込 00100-0-12240

銀行振込 世田谷稲門会事務局
みずほ銀行成城支店

普通 1849947
世田谷稲門会事務局

事務局会計担当 横田吉明

Tel/Fax03-3324-7046



編集後記

久しぶりに「早慶戦」に快勝して美酒に酔ったのも束の間、本号の編集作業に着手。相変わらず締切期日に間に合わない、文字数制限を遥かに超過の事例幾多。関係各位に敢えて苦言を呈します。編集者もより良い会報に仕上げるよう、最大の努力をしておりますので、何卒ご協力ください。

（細澤 勲）

毎回「会員のひろば」の原稿に接するたびに、様々な分野で活躍する会員の層の厚さに感銘しています。ブロック会世話役の皆さん、貴会の素晴らしい仲間をご紹介ください。また自薦他薦を問いません。寄稿をお待ちしています。

（寺島 邦夫）

本号から小生も編集作業に参加する事になりました。会員の皆様が会報を上手に活用されて一層の親睦を深められるよう、編集作業にがんばって参ります。

（江原 利次）

今回も大内秀行さん、荒井清さんに写真をご提供いただきました。有難うございました。

（編集部）